

銘傳大學 96 學年度研究所碩士班招生考試
應用日語學系碩士班
第四節

日本經濟試題

(第 / 頁共 / 頁)
(限用答案本作答)

※注意：

1. 合計 100 点。回答は横書きにすること。
2. 問題の番号を正しく書いてから、回答すること。
3. 中国語または日本語による回答が可能である。
4. 一の「専門用語」は 30 文字以内、二の「設問」は 300 文字以内で回答すること。

一、「専門用語」：次の専門用語を簡潔に説明せよ。(4%×10=40%)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1、株持会社 | 6、産業空洞化 |
| 2、完全雇用 | 7、日本的経営の「三種の神器」 |
| 3、グローバリゼーション | 8、日本工場の 5S 運動 |
| 4、APEC | 9、「日本株式会社」 |
| 5、赤字国債 | 10、QC サークル |

二、「設問」：次の質問を詳しく回答せよ。(12%×5=60%)

- 1、日本の少子化問題は日本経済や日本社会にもたらす影響を述べてみてください。特に、日本の年金制度に関わる問題を取り上げてみてください。
- 2、日本の郵政民営化の現状を述べた上、日本が郵政民営化を進めてきた理由を説明してください。また、それがもたらす影響をも論じてみてください。
- 3、戦後の日本の経済発展について、いくつかの時期に分けて、各時期の経済構造や特徴または問題点に触れて論じてみてください。
- 4、東アジアにおける「文化交流」が非常に活発しており、そうした中、日本の位置付けまたは日本が果たす役割はどうなるのでしょうか。なお、この文化的要因と経済活動の関係について、日本を中心に、自分の知見を教えてください。
- 5、2002 年から日本の経済回復が目に見えるように進んできました。さらなる経済発展を実現するには、2006 年より、日本経済の発展方向として、「持続する成長力」を確保するのが最も重要視されるようになりました。この「持続する成長力」の源泉はどういうものなのでしょうか。説明してみてください。

試題完